

伊豆市立修善寺南小学校 学校だより

学校教育目標

「共に輝く たくましい 南っ子」

重点目標

「あふれる笑顔 熱い瞳 まぶしい汗」



《住所》

伊豆市柏久保449

《電話番号》

0558-72-0149

南っ子だより

令和2年度 学校だより

令和3年3月18日 発行

第24号 文責 飯田澄雄

1年間のご支援、ありがとうございました。



半日開催の運動会

コロナ禍の中、試行錯誤で過ごした1年間が終わろうとしています。規模を縮小したり、行事等を中止したりと今年はいろいろな対応を余儀なくされましたが、その度に保護者の方々から、本校の取組に肯定的な激励をいただきました。今まで以上にありがたさとPTA組織の一体感を感じることができた年だったと感謝しています。



日帰りで実施の自然体験教室

主な取組を振り返っての反省です。

- ① 年度内に学習すべき教科内容は、(若干、薄くはなりましたが)すべて消化することができました。
- ② 大きな行事(自然体験教室・運動会・修学旅行)は、規模の縮小や行き先の変更こそ余儀なくされましたが、子どもが主体の活動として実施することができました。
- ③ 外部との交流行事(幼保小、小中、交通教室等)は、直接的な交流はできませんでしたが、様々な方法で、主旨を生かした活動として行うことができました。



静岡・浜松へ目的地を変えて実施した修学旅行

来年度も多々制限されることがあるかと思いますが、子どもが安全かつ主体的に活動できるよう工夫していきます。引き続きご支援をお願いいたします。

修南小について

今年度の始めに2ヶ月の休業があり、つつい着任者の紹介を失念してしまいました。反省の思いを込めて、遅ればせながら、その方々の声を紹介いたします。7名に「修南小での1年」を振り返っての感想をいただきました。紹介します。

加藤教頭先生

1年生が育てているチューリップが可愛らしい蕾をもちました。季節はいつも同じように巡り、今年も春がやってきます。「さよなら」をする事も出来ずに前任校から異動し、南っ子に「よろしく」といったものの次の日からまたすぐお休みとなって、子どもたちにも会えない、さみしく不安な春だったことが忘れられません。そんな中、学校を心配して多くの地域の皆さんが様子を見に来てくださったことが有り難かったです。南小学校を支えてくださる大きな力を感じました。

1年間、ご支援ありがとうございました。



石川昭博先生

南小に来てまず感じたのは元気の良いあいさつができる子が多いということでした。腰を痛めたときも、優しく気遣ってくれる子の多さに感動しました。素敵な環境の中で、子どもたちが育っているなと思います。



堀江盛雄先生

大きな声で元気にあいさつ、はきはきとした返事、修南小の素晴らしいところです。8の字跳びでは、クラス一丸となって努力することができ、みんなの姿がとても素敵だなと感じていました。



古村 圭先生

元気いっぱいな1年生の子どもたちと一緒に、修善寺南小についてたくさん知ることができた1年間でした。明るく優しい南っ子のお兄さんお姉さんのことを、いつも頼もしく感じていました。



川井巳由先生

1年間この修南小で過ごした感想は、毎日、元気いっぱいの子どもたちからたくさんのパワーをもらったということです。何事にも前向きに一生懸命取り組む子どもたちを見て、自分も頑張ろうといつも励まされていたように思います。



土屋翔太郎先生

いつも元気で、一緒にいるだけでパワーをもらっています。初任の学校で、こんなに明るく優しい南っ子たちと出会い、過ごすことができていることに感謝しています。とてもうれしいです。



橋本佳子先生

いろいろな学年で授業をさせてもらいましたが、南っ子はとにかく明るい！授業中や昼休み、みんなの笑顔にっこにこの笑顔にたくさん元気をもらいました。清掃時間になると、みんなの笑顔が凍々しい表情に変わること、黙動清掃が素晴らしいことに、いつも感心していました。



6年生に感謝する会

12日に「子どもの手による卒業式」として、標記集会を開催しました。例年と違って、この日までに各学年と6年生との交流を計画し楽しく遊びの時間を作っていましたので、この日は5年生の出し物と6年生の感謝のメッセージで締めくくりました。児童会旗の引継ぎでは、各々の子どもたちの胸によぎるものがあったように感じます。

年度末の離任式は市内各校、今年も行いません。転退職の教職員からお礼のあいさつもできず申し訳ありませんがお許しください。今までのご支援・ご厚情に感謝申し上げます。

